

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会(メ-ル'ックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



◆ 目次 ◆

- 活動報告!
- 各校と箕面ユネスコ協会
- お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中!

「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

東日本大震災復興支援イベント

『3.11を忘れない』に協働しました! (報告1)

東日本大震災から6年目を迎えた、3月12日(日)市民活動フォーラムみのお主催の「3.11を忘れない 復興支援イベント」がみのお市民活動センターで開催されました。オープニングでは、聖母被昇天学院聖歌隊の澄み渡る美しいコーラスが、会場の皆さんの心に響き渡りました。箕面ユネスコ協会は「買って、食べて、飲んで応援!復興支援横丁」に参加しました。恒例となった物産展では、「去年も買って美味しかった」というリピーターの方からの嬉しいお言葉もいただきながら、東北、熊本から取り寄せた物産は完売となりました。復興支援横丁では、ヤマヨ水産



の牡蠣や男山酒造のお酒をはじめ東北、熊本の食材をお楽しみいただきながら、箕面ユネスコ協会の大濱さんより「被災地の今」のお話をしました。大阪府ユネスコ連絡協議会の中馬弘毅会長をはじめ、多くの方々に参加していただきありがとうございました。被災地をこれからも忘れないために、被災地で頑張っている方々が笑顔になることを期待しながら、箕面の地でできる活動を続けていきます。
(石橋 晴代)



東日本大震災復興支援イベント（報告2）3.11を忘れない

3月12日（日）に箕面市民活動センターで開催された東日本大震災復興支援イベント「3.11を忘れない」に物産販売と復興支援横丁に今年も参加しました。

11時に集合し、「カモメの玉子」「さんまくん」「わかめドレッシング」「ねぎ味噌」など、すっかりお馴染みになった気仙沼の特産品を、石橋さんたちが手際よく並べていくところから始まりました。

一方の復興横丁は、早い時間に島本町や宝塚から駆けつけていただいた花田さん、辻田さん夫妻のメニュー仕込みが完了し、13時のオープンを待つばかりの手際の良さでした。12:30の聖母被昇天学院のオープニングコーラスが始まる頃には、東京からの大槻さん、笹川さんも揃い、熊本西原村の物産も合わせて販売

するなど、好調な売り上げを続けました。

復興横丁では、気仙沼の牡蠣や魚と日本酒を楽しむお客さんに、スクリーンやパネルを駆使して、大濱さんから東北や熊本の現状を伝えることが出来ました。

物産販売は、15時ごろには完売し、箕面ユネスコが少しは熊本や東北を応援することが出来ました。ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。（岡 修）



箕面ユネスコ協会の活動経過報告 N012

3月10日兵庫県たつの市立御津小学校へ行ってきました。素敵な出会いをありがとうございます。

今日は兵庫県たつの市立御津小学校で東日本大震災の話をし



ました。明日で震災から6年！御津小学校は兵庫県の南西部に位置し、瀬戸内海まで1キロ余り、近くに海水浴・潮干狩りで有名な新舞子の浜があります。3年生から6年生の336人の児童のみなさんと3・11を通し、命の大切さや命を守ること、みんなで何ができるかを考えました。この3月で退職される

校長先生が子どもたちへの最後の贈り物として、東日本大震災ことを知ってほしいとの思いから場の設



定をされました。とても素敵な校長先生です。ありがとうございました。つないでいただいた気仙沼観光コンベンション協会の熊谷さんに感謝しています。（坂口 一美）

各校で行われた「総合学習まよめの活動」を参観させていただきました

○箕面市立とどろみの森学園 5年生○

「震災から学ぶ～私たちにできること～」

1年を通し、被災地に心を寄せ、自分たちにできることを考え続けた5年生のみなさん。3月には、グループに分かれ、それぞれに趣向を凝らした全校への発信が行われました。



…臨場感あふれる劇仕立ての力作紙芝居 一部紹介します…

二人は学校につくと、お父さんとお母さんを探し始めました。
しばらくすると、お父さんとお母さんが見つかりました。
父母 「二人はどうやって避難してきたの？」
子ども 「ええっと～じゃあ、約束を一個ずつり返してみよう！」
①地震が来たら机の下にかくれよう！（机がなかったら頭を守る体勢に）
②にげる時は何も持たずににげよう！
③地震が来たらどうするか親と話していよう！
父母 「もし、これからも地震が来たら、今回みたいにできる？」
子ども 「うん！」

みんなも①～③のことを覚えよう！

1・3年生には、紙芝居で、2・4年生には、劇とパワーポイントを駆使したプレゼンで、7年生とは、焼き芋をいっしょに味わって（7年生が作った止々呂美名産の炭を使い、たんぼぼハウスから送られたお芋が生かされました）、全校のみなさんには、ちらしや壁新聞で…。1年間の学びが生き生きと伝えられていました。

被災地で役立つグッズ作り体験もありました



○箕面市立萱野小学校 3年生○

「～支え・伝え・つながる 3年生～」

校区探検を通し、地域にあるお店や施設で働く人たちから、地域の特徴や地域がよりよくなるための工夫などを学んできた3年生のみなさん。箕面ユネスコ協会も、被災地でのボランティア活動を通して気づいたこと等を伝えさせていただきました。その後、子どもたちは、地震などの災害に備える地域のお店の工夫を知り、地域への親しみを重ねたそうです。

この日のま

とめ活動では、1年を通した学びを『すごろく』に表わし、丁寧に書き表した説明カードを使って、地域や保護者のみなさんとともに、ゲームやクイズを楽しむ姿がありました。フロアいっぱい笑顔があふれる温かな時間でした。



子どもたち、そして先生方、ありがとうございました！（大濱 淳子）

●熊本とつながる！緩やかなネットワーク5



3月23日～26日、箕面「らいとぴあ」中村雄介さん率いる高校生等の「熊本震災支援を学ぶ現地フィールドワーク」に同行、西原村たんぼぼハウス（施設長 上村加代子さん）たんぼぼハウス絆食堂を手伝いや、高校生は新設されたたんぼぼハウスの「新館ふわり」の周りの整備等力仕事をしました。帰りは熊本県菊池市大迫集会所、福岡県筑後市上北島教育集会所での交流会にも参加しました。素敵な新たな出会いがあり、よく働き、たらふく美味しいものを食べて、大満足の現地フィールドワークでした。皆さんありがとうございました。



◎感謝状贈呈しましたー☆。応援への御礼。

2月12日（日）、社会法人 池田さつき会 伊丹谷 五郎理事長から、75,000円の寄付金を贈呈していただきましたことに、4月9日に開催された『ふれあい食事会』で感謝状を贈呈しました。

池田さつき会は、地域貢献をコンセプトとし、豊能地区を中心に特別養護老人ホームの運営、訪問介護、デイサービスなど福祉事業を展開されています。この日のシェフは 程 一彦先生でした。

（次回は6月11日開催！）




★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンズ遺産ダンス」のムービー編 「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！

箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

—今後の日程について—

5月21日（日）箕面ユネスコ協会総会
多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

